

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などに関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化にたしむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点

学期	月	内容のまとまり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一学期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 月	響か、しめよるうい歌声を	新し 歌唱： 花の街 合唱曲	・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。
		夫しよう楽器表現を工	曲想と 器楽： アルト リコー ダー	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		うし、その魅力や背景を味わ	音楽の 鑑賞： ブルタ バ	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		つまろりのある旋律を	創作： 旋律をつくる	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	・リズム・旋律・構成を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、またありある創作表現を創意工夫している。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

二 学 期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 月	表 曲 現 生 を 種 か 各 し 種 工 生 夫 活 し 動 し 意 よ 図 う 表 唱 現	合唱： 各クラ スコ ラスコ ンクル ル曲	・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・リズム・速度・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	歌・詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。
		表 曲 現 想 を を 工 感 夫 じ し 取 よ っ う て 、 器 楽	器楽： アルト リコー ダー (箏)	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		響 が 楽 き 器 を の 味 オ 音 わ 色 い 鑑 け 賞 お ケ う ス ト ポ ラ レ の し ロ な み	鑑賞： ボレロ	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	・音色・リズム・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		律 ま を と つ ま く り ろ の う あ る 旋	創作：旋 律をつく ろう	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	・リズム・旋律・構成を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、まとまりある創作表現を創意工夫している。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
三 学 期	1 ・ 2 ・ 3 月	う 情 豊 間 か と し ど よ も い 合 し 唱 し 表 よ 現	歌唱： 校歌 旅立ちの 日に 早春賦 卒業式歌	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
		を て 曲 工 想 夫 を し 感 し じ よ サ う ジ ン 取 プ っ ル プ	器楽： アルトリ コーダー	・楽器の音色や響きと奏法との関りについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		旋 ま と ま っ り く の ろ あ う る	創作：旋 律をつく ろう	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	・リズム・旋律・構成を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、まとまりある創作表現を創意工夫している。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	評価方法	テスト	テスト ワーク	ワーク 授業態度 行動観察		

学習の進め方

- ・ 1週間に1回の授業なので一回一回を大切に、また授業内で内容を理解することを柱に置き授業を展開します。
- ・ 毎時間、授業始めに欠かさず忘れ物✓から始め、曲ごとにワークを記入させ習熟度を測ります。
- ・ 歌唱や器楽に関しては、テスト(一人・ペア・グループ)を行い、その都度評価を伝えていきます。